
優

美雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

優

【Zマーク】

Z9314B

【作者名】

美雪

【あらすじ】

届かない想いは、自らを縛るオリになる。抜けられないアリ地獄。

お前可愛い奴やなあ

それがあの人の口癖だった。

いわれる度に顔を真っ赤にする私を面白がって眺めて笑いながらまた言う。

ほんまお前可愛いわ

お前見てるとなあ、なんでもしてやりたなんねん。妹みたい。てかまじ妹にそっくつや。お兄ちゃんつて呼んでみ?

馬鹿にしてる、とふくれてみせながら、考えたことは一つ。

お兄ちゃんは妹を好きになつてくれたりはしないんだわつな。

色素の薄い瞳が綺麗でついついみとれていたら、不意に涙が合つた。

ん? どうした?

優しく問い合わせられて何故だか涙が出そうになつた。

ああ。あたしはこの人が好きだ。

ほんやりとして何も言わない私を少し困つたような顔でみつめると、頭を軽くなでてくれた。

しんどいことあつたらなんでもいいや。可愛いお前のためやつたら
なんでもしたる。

『ほんまになんでもしてくれるん?』

それは言葉にしちゃいけなかつた。
知つていたのに。
ずっとずっと上手くやつてきていたのに。

もうあの人は私を可愛いと言つてはくれない。
頭をなでてもくれない。それでも辛い時は誰より早く気付いて、そ
つと支えてくれる。

そんな優しさが私を辛くさせることも、きっと知つてゐる。
知りながらも冷たくすることなんて出来ない人だ。
するいのか優しいのかもわからぬけれど。

ただ一つわかること。

あたしはあの人人が好きだということ。
優しくされる度に辛くて辛くて、もっとあの人人の優しさが欲しくな
る。

抜けられないアリ地獄にはまりながらも、あたしはまたあの人人の声

が聞きたくなる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9314b/>

優

2010年11月23日16時53分発行